

〇2月10日(日)開催 第3053回例会
兵庫県山岳連盟行事同調/雪山バスハイク
ふるさと兵庫100山

「雪の暁晴山と笠形温泉・せせらぎの湯」へ
保久良支部 曾谷 睦

初級雪山ということで、登山会に入会して初めての冬であり、保久良支部の小屋の掲示板に貼られたのを見て直ぐに申込みをしました。バスで行く登山も初めてで、申込みから1ヶ月待ち遠しい日々を送りました。

まずまずの好天に恵まれた当日、新神戸駅7時30分集合。10分前に到着すると、川崎副会長より参加者の確認と、昼食の『縦走弁当』を頂戴して神姫バスに乗り込みました。



登山の定番・縦走弁当 / 淡路屋HPより

いつも時間ギリギリの私(昨年10月の蓬莱峡、宝塚岩原山登山で集合時間に遅刻)に比べ、他の参加者の方は既に搭乗済み。団体行動は、時間厳守! 10分前行動の重要性を再認識しました。

新神戸駅を予定通り7時30分に出発。生田川から阪神高速神戸線に入り長田で神戸山手線へ。車中では、吉野会長から岳連の理事の紹介、ヒヨコ登山会の乾副会長、川崎副会長、渡田リーダーの紹介の後、本日のスケジュールや登山コースなどの説明が行われました。暁晴山は標高が1,077mあるが、バスで約900mの峰山高原リゾートホワイトピーク(スキー場)まで登ること。(残り僅か100mかと甘い考えが!...)

阪神高速神戸山手線から北神戸線(布施畑ジャンクション)-神戸淡路鳴門自動車道-三木ジャンクション-山陽道と進み、三木サービスエリアで一旦休憩。保久良のお姉さまOさんの奢り(流石にブルジョア)でHOT COFFEEを頂戴し(CUPが予想より大きく2CUPに分割)、体が温まりました。

20分後出発、姫路東から播但道に入り北進。市川あたりから天候が冬の様相を呈し、神崎郡に入ると山は雪で白く雪もチラホラと降っていた。神崎南で降り神河町役場前を通りS字カーブの続く山道を登るにつれ道に雪があるも、凍ってはならず峰山高原リゾートピーク手前まで到着。入口手前100mで渋滞につかまり、徐々に進みながらゲートをくぐり9時40分に峰山高原ホテルリラクシア前に到着。

到着後トイレを済ませ、登山の準備に。レインウェアのパンツを穿こうとしたが、横着者の小生は、登山靴を穿いたままパンツを着けようとするも、なかなか足が通らず苦戦。やっとの思いで着装するも、周りの方は少なくなり心は焦る。スパッツを着装しようとするも、紐のゴムが伸び反対側に固定できなくなり、また焦り・!ゴムを取外しなんとか固定。ストックも持たず、いざ出発と顔をあげると、アレ?誰もいない!・ヤバイ、いきなりリゾートハウスで遭難か!(冷や汗)。外に出てそれらしき人が居たのでついていくとスキーのゲレンデへ?前方を見たが39名の団体は見当たらず?後ろを振り返ると左手後方に39名(私を除くと38名)の団体がいるではないか... さっきのそれらしき人は誰?出口左に車がいたので気がつかなかった?出口で左を見なかった?等、色々考えながらホット一息。遭難(迷子)でなくてよかった!!(誰も知らなかったでしょうね!...トホホ!)



植林の中を一筋に歩く参加者

10時過ぎにいざ雪山登山開始。岳連/播磨支部の

方の先導の元 1 列縦隊で進む。スキー場は 90cm の積雪と聞いたが登山道は、前日に入山した方がいるようで踏み固まった道を進んだ。周りは非常にきれいな雪で約 20 年ぶりの雪山（20 年前はスキー場にて！）に感激。途中、風が吹き雪のシャワーを観てまた感激。登山靴で感じる雪に感激。非常に綺麗なパウダースノー。途中小川があり、3 本の丸太の渡しで慎重に渡る為渋滞。無事に全員が渡り（私が落ちれば笑いが取れるとゲスな考えが・・・）緩やかな登山道を前進。途中分かれ道



3 週連続で雪山登山の会長。疲れ残るも笑顔忘れず！

で休憩。皆さんの楽しそうな笑顔をスマホで撮影。私は汗をかいたので、ジャケットを脱いで再スタート。上りが少しきつくなったのと、積雪が多く歩きにくくなってきました。所々で足が雪道を陥没させ危険を感じた。前の人は全く普通に登られているので、私の体重が重い（今日はリュックにブレイクタイム用熱湯 1.5ℓの水筒がはいって



間もなく山頂。樹氷が見事です！

ると言い訳！）のかな？ 何度か雪に足を取られながらスキー場の最高峰に到着。それから電波塔の山頂まで緩やかな登りを進むと、大きな木に雪が着雪（樹氷？）し非常に綺麗で感激しました。11 時 30 分登頂。天候は登山中に太陽も見れましたが、山頂では少し雪が降っていました。北方面は濃いグレー雲で大雪の様相であった。残念ながら 360° パノラマの山々（氷ノ山や遠くは妙見山が見えると案内板に書いてありました）は見れず。写真を撮ろうとスマホを取出すも無反応。バッテリー切れ？低温ではバッテリーの消耗が早いと聞いていたが、本当に早くびっくり仰天！でも充電バッテリーがある。エヘンと思いきや、リュックのポケットを探るも『無い！！』・・・忘れてきたことが分かりトホホ（いつものことです。）皆さんも注意して下さいね！



電波塔が立つ、暁晴山・1,077Mの山頂にて

山頂で参加者全員による写真撮影を実施。計画ではここで昼食の予定であったが、風があり寒い為、下山の途中の風のない所ですることになり、下山開始。下りも雪道の所々で道を陥没させながら登る時の休憩場所に到着。岳連/播磨支部の方達とは、ここでお別れし、昼食かと思いきや、アルコールを入れたい人が多くバスの中で昼食に決定。その後、皆さん元気に歩を進めリゾートハウスに到着し駐車場のバスに乗り込んだ。さすがに三連休の中日で、駐車場は来た時から満車であったが、その後もスキー場への来場者が多く道路には駐車待ちの車がゲートを越えて連なっていた。

バスが駐車場を出発し下りに差し掛かるとスキー場への車が引続き連なっており S 字カーブではバスの通行が困難と思われたが、流石にプロ運転手さんは上手くかわし神河町役場へ到着。行先の笠形温泉せせらぎの湯を再確認して目的地に到着。道中、疲れが出たのと心地よい揺れでうたた寝。隣席の酒豪 K さんもほどよいお酒が入りうたた寝。

笠形温泉せせらぎの湯は改装中で、その上にある露天風呂からの見晴らしが最高の「みはらしの湯」へ。山の中の静けさを感じつつ今日の疲れを癒した。



せせらぎの湯の上部が（みはらしの湯）/HPより

温泉を楽しんだ後は、娯楽室で楽しい慰労会。残念ながら私はお酒を飲まないの、隅っこでコーヒーとお菓子を頂きました。隣にいたお姉さま O さんもお酒は飲まないと言っていました、そこは元営業、上手く勧めて最後は日本酒も鯨飲。皆さんと楽しい時間を過ごしました。

16 時に笠形温泉せせらぎの湯を出発。川崎副会長の名司会の元、神姫バス吉野ガイド?による名ガイド（挨拶）を受けた。また、川崎副会長から初参加 3 名（私もです）の紹介を受けました。車中も楽しい会話が続き、最近行わなくなった会社の慰安旅行を懐かしく思いました。

往路と同じ三木サービスエリアで 15 分休憩後、新神戸トンネル経由で三宮のラウンドワン前に 17 時 50 分に到着し解散となった。

今回、初参加で色々な失敗もありましたが、久しぶりの雪山も観れ、且つ登山ができ、非常に楽しい時間を過ごせました。

吉野会長始め岳連に携わられている皆さん、川崎副会長、乾副会長、渡田リーダー、ヒヨコの諸先輩、そして、安全運転を心がけて下さった神姫バスの運転手さん、ありがとうございました。また、楽しい冬山企画をお願い致します。

天 候 晴れ

参加者 39 名（内当会会員 34 名）

写真提供 伊藤 一雄さん（岳連副理事長）
渡田 哲夫さん（ヒヨコ・布引）
小堺 忠史さん（ヒヨコ・保久良）